



公益財団法人 ダスキン愛の輪基金

## 2014年度(第34期)事業報告書



愛の輪運動は障がい者の自立と社会との共生を応援しています。



## 35年目を迎えて

合掌

「何かお役に立ちたい」。ダスキンファミリーひとりひとりの小さな願いから始まった愛の輪運動。多くの皆さまのご支援ご賛同を賜り、活動を拡大・継続させていただき、35年目を迎えることができました。心より御礼申し上げます。

現在、「ダスキン愛の輪基金」は、大きく2つの事業を実施させていただいています。財団設立当初から実施しております地域社会のリーダーとして貢献したい、と願う障がいのある若者を海外に研修派遣する事業。34年間で484名が研修を修了し、帰国後はその貴重な体験を活かし、大学教授や弁護士、自立生活センターの運営、パラリンピック選手など様々な分野で活躍されています。

2つ目は、1999年より実施しているアジア太平洋地域の障がいのある若者を日本へ招き、障がい者福祉を学んでいただく事業です。16年間で115名の研修生が学び、母国で障がい者福祉のリーダーとして活躍されています。

これらの活動は、会員さまからの会費、ミスタードーナツ店舗などでの募金、多くの方々からの献金と、研修生を受け入れていただく関係機関を含めた皆さま方からの研修生への温かい励ましなど、物心両面での支えがあって、続けることができました。

近年では、研修生のグローバル、多方面での活躍もあり、ホームページをご覧いただいでるの献金も増えてきております。35年前の私たちの小さな願いが、広く一般の方々への願いに広がり大きな“輪”になってきていることを実感しております。

これからも公益財団としての社会的責任を果たし、“愛の輪の活動”をより多くの方達に知っていただくことにも取り組むとともに、全ての人が心豊かに暮らせる社会づくりのお手伝いを続けてまいります。

今後共、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

ありがとうございました。合掌

公益財団法人 ダスキン愛の輪基金

理事長

山村輝治



## 第34期も愛の輪会員の皆さまの温かいご支援を賜り、さまざまな活動を行うことができました。

### 公益財団法人ダスキン愛の輪基金 2014年度(第34期)事業報告書 目次

#### 1 理事長あいさつ

#### 3 ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業

- 個人研修
- スタディ・イン・アメリカ研修
- 知的障害者グループ研修
- ジュニアリーダー育成グループ研修(視覚障がい者ユースプログラム)

#### 7 ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業

#### 9 愛の輪地域活動

- 各地域で広がる「愛の輪」啓発活動
- ダスキン創業50周年記念事業 地域大会
- 新春のつどい
- ダスキン感謝のつどい
- ミスタードーナツ第35回フレンドシップフェスティバル

#### 11 正味財産増減計算書・貸借対照表・財産目録 収入・支出・会員数の推移

#### 13 財団34年の歩み

#### 14 役員・委員一覧

#### 15 めい あい へるぶ ゆう - ダスキン愛の輪基金

あいのわ宣言

「広げよう愛の輪運動」会員憲章



#### 障害の「がい」の文字表記について

この事業報告書では、事業名称等定款に記載されている文言、ならびに法律用語については漢字表記とし、それ以外については「害」を「がい」とひらがな表記とさせていただいております。



# 事業発足後、34年間で484名の研修生を海外14カ国に派遣。 第34期は個人研修生4名、グループ研修生2グループ10名を研修派遣しました。

ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業は、1981年に国連で決議された国際障害者年を契機に、障がい者の社会への完全参加と平等の実現を目指して発足。この事業は、地域社会のリーダーとして貢献したいと願う障がいのある若者に海外で研修していただくもので、障がいのある人を対象とした海外研修派遣制度として、国内外に広く知られています。

## 研修派遣生の構成 (484名)

| 地域別 (応募時) |      |
|-----------|------|
| 北海道       | 9名   |
| 東北        | 27名  |
| 北関東       | 52名  |
| 南関東       | 52名  |
| 東京        | 112名 |
| 東海        | 48名  |
| 北陸        | 13名  |
| 近畿        | 97名  |
| 中国        | 20名  |
| 四国        | 15名  |
| 九州        | 39名  |

| 性別 | 海外派遣先別   |
|----|----------|
| 男性 | アメリカ     |
| 女性 | イギリス     |
|    | スウェーデン   |
|    | オーストラリア  |
|    | ニュージーランド |
|    | ドイツ      |
|    | カナダ      |
|    | フィジー     |
|    | フィンランド   |
|    | イタリア     |
|    | ノルウェー    |
|    | デンマーク    |
|    | フランス     |
|    | フィリピン    |

| 障がい種別 |
|-------|
| 知的障がい |
| 視覚障がい |
| 聴覚障がい |
| 盲ろう   |
| 肢体不自由 |
| てんかん  |
| 内部障がい |
| 精神障がい |
| 発達障がい |

## 聴覚障がいLGBT※のロールモデルの大切さを再確認! それは希望であり、生き方の道しるべ。

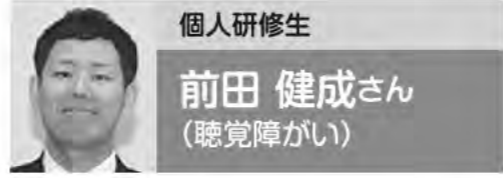
アメリカのゲイタウンのひとつサンフランシスコには、大きなLGBTコミュニティがあります。また、研修先のオーロニ大学があるフリーモントにも大きなろうコミュニティが存在しています。歴史的背景の上にふたつのコミュニティが影響し合い、それが聴覚障がいLGBTにとって良い影響をもたらしているのを感じました。異性愛者、LGBTに関係なく、健聴者も聴覚障がい者もみんなが聴覚障がいLGBTに対して寛容でした。

例えば、聴覚障がい団体のイベントにドラッグショーが開催され、大学のイベントでも聴覚障がいLGBTの講演会が開かれました。健聴LGBTには指文字や手話ができる人が多く、それができなくても会話

しようという姿勢が常にありました。多くの聴覚障がいLGBTがあるべき本来の姿でいきいきと暮らしている、そこに感動を覚えられました。

私はサンフランシスコを頻りに訪ね、多くの聴覚障がいLGBTと触れ合うことができました。一人ひとりの想いを日本の聴覚障がいLGBTに届けることができると考えています。

※LGBTとは、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの略



個人研修生  
**前田 健成さん**  
(聴覚障がい)

【研修先】アメリカ: Ohlone College  
【研修期間】2015年1月10日～2016年1月9日(予定)  
【研修テーマ】聴覚障がいLGBTの立場から社会への理解普及および情報獲得しやすい環境づくり



## スタディ・イン・アメリカ研修

今年度初めて実施されたプログラムで、3名の研修生をアメリカへ派遣。約5カ月間にわたって語学研修とともに、個人の希望するテーマに沿った研修を行いました。

【研修先】アメリカ: マサチューセッツ州立大学ボストン校(UMB) グローバルインクルージョン・社会開発学部 地域インクルージョン研究所(ICI)  
【研修期間】2014年7月30日～12月22日  
【研修内容】①英語集中研修 ②障がいに関する学習 ③障がい者リーダーシップ個人研修 ④定期的なグループ指導セミナー

### 川端 舞さん(肢体不自由) 【研修テーマ】障がい児を持つ保護者への支援について



幼い頃から両親との関係に悩んでいた私は、ボストン滞在中に障がい児の保護者支援に興味を持つようになりました。自分が心からやりたいと思えることを見つけられたのは、ボストンで出会った方々があるままの私を受け入れてくれたからです。障がい児の親のための団体にインターンシップを実施し、同じ困難を

抱えた仲間が集い支えあい、必要に応じて気軽に専門家に相談できる環境の大切さを学びました。このことは、障がい児の保護者だけではなく、社会的弱者とされている人すべてに当てはまると思います。私は、ボストンで学んだことを活かし、困難を抱える人々が互いに集まり、支えあい、専門家への相談も気軽にできるような地域づくりに貢献したいと思っています。



### 蔵本 紗希さん(肢体不自由) 【研修テーマ】マイノリティとして社会に発信するための方法について



ボストンでの生活の中で、障がいと他の文化、人種や民族、性などのあらゆる要素におけるマイノリティとの多くの接点に気づき、関心を抱きました。帰国した今、私は障がいだけにとどまらずマイノリティについて、Social JusticeやActivismに焦点を合わせて考え、学び

続けていきたいと考えています。障がいというものがその人のあり方の軸ではない。一人ひとりの人格と権利が守られるべきであるという根本的なところから活動していきたいと思っています。私は、個人、コミュニティ、社会という3つのつながりと影響についてより深く考えていきたいです。



### 木戸 奏江さん(肢体不自由) 【研修テーマ】公共交通機関のバリアフリー環境について



アメリカの公共交通機関のバリアフリーについて学びたくて、この研修に参加しました。実際の状況を目の当たりにすることで日本と比較でき、多様な面からバリアフリー環境を考察できました。また、アメリカと日本の障がいに対する認識の違いも理解できました。アメリカでは障がいを「診断」ではなく、「能力」で認識する傾向があります。見た目、病名に注目

するのではなく、「何ができるか、できないか」といった能力に注目するアメリカの環境はとても心地よく感じました。アメリカで生活をして、どれだけ多くの先入観の中で生きてきたかを改めて気づかされました。日本では当たり前だと思っていたことが、本当にそうなのか、どうしてこうなったのか考えるきっかけとなりました。「偏見と教育」、私がアメリカで新しく興味を持ったトピックです。





知的障害者グループ研修

ディスカバリー7

【メンバー】山崎 慶子さん(会社勤務) 岡野 麻美さん(就労支援事業所所属)  
鳥井 孝平さん(NPO法人勤務) 大石 翔平さん(就労支援事業所所属)  
【研修テーマ】知的障がい者の自立支援サービス利用体験  
・職業訓練体験 ・グループホーム見学 ・当事者との交流  
【研修先】アメリカハワイ州:ヘレマノプランテーション  
【研修期間】2014年9月13日~19日

山崎 慶子さん

米軍基地の中に食堂があることにびっくりしました。基地で働けたことに感謝しています。みんな楽しそうに一生懸命働いていたことに感動しました。日本では考えられないですね。日本の企業は障がい者を受け入れる姿勢がまだ少ないと思います。フラダンスをしたり、プレスレットを作ったり、カラオケしたり、ヘレマノの人と交流しました。最後のあいさつで、自己紹介が自分からできたのが良かったと思います。1日目は不安と緊張で声も出なかったけれど、2日目、3日目と慣れてきて楽しかったです。基地で体験実習したり、ヘレマノのことがわかって良かったです。ヘレマノのスタッフの笑顔が素敵でした。



鳥井 孝平さん

働く場としてのレストランやお土産屋さんなど、日本にはない規模の大きさだと思った。日本の実習と違って張り詰めた感がなく、途中でドリンクを勧められたり、やることはやりながらも余裕もあるといった感じだった。送迎のバスに横から昇降できる車いす用のリフトがついていて感動した。FBIの審査を受けて、朝方~正午までという勤務時間の基地での仕事にもびっくりした。印象に残っているのは、施設のみなが笑顔だったこと。環境が大事なんだなと思った。ヘレマノのような施設が日本でも増えて、日本の福祉が良くなってほしい。ハワイには今度また個人で気兼ねな気持ちで羽をのばしに来たい。



岡野 麻美さん

普段入れない基地に入れたこと、同じ障がい者を持ったみなさんが生き生きと働いている姿を見られたのが良かったです。プレスレットと天使の人形を作りました。人形作りに時間がかかり、カラオケに参加できなくて残念でした。ヘレマノはアットホーム。みんなが打ち解けていていい雰囲気。ありのままの姿をスタッフに出しています。自分が通っている施設もヘレマノと同じようなところなので安心しました。社会の受け皿だけが増えてもだめ。人々の考えや支援者の考え方を変えていきたい。安心して住める社会、緊張せず気楽な気持ちで暮らしたい。これからもボランティア精神で頑張りたいと思いました。



大石 翔平さん

ひとつの施設を作るのに、大変な努力と費用がかかっていることがわかった。スタッフがみな笑顔だったのが印象に残った。グループホームとは思えないくらいきれいで、施設全体が楽園のように思えた。基地の中で働けると思っていなかったのが、貴重な経験だった。みなさんは自分の作業工程をきちんと覚えていて、生き生きと働いていた。一緒に働いて楽しかった。フラダンスやプレスレット作りなど普段経験できないことができ、カラオケをみなさんと一緒に楽しむことができ、とても良い思い出になった。ヘレマノのみなさんは、一人ひとり夢や希望を持って生活しているのが素晴らしいと思った。



ジュニアリーダー育成グループ研修

視覚障がい者ユースプログラム

【メンバー】伊山 功起さん 佐川 慧さん 執印 優莉亜さん  
野澤 幸男さん 藤原 なるみさん 道原 佳歩さん  
【研修テーマ】イギリス文化と視覚障がい者のアクセシビリティを学ぶ  
【研修先】イギリス:RNIB(英国盲人協会)ほか  
【研修期間】2014年8月8日~19日



伊山 功起さん

特に心に残ったのは博物館です。日本では展示物に触ることを禁じている博物館がたくさんあります。イギリスでは視覚障がいがあることを伝えれば展示品のいくつかを触ることが出来ます。訪れてくれた人を楽しんで欲しい、知って欲しいといった気持ちが日本よりも強いからではないかと思えます。日本でもイギリスの博物館にあるような展示物のタッチツアーをもっと設けてほしいと思いました。まずは作品に触れてもらうということに対する抵抗感をなくして欲しいです。



佐川 慧さん

今回、イギリスで視覚障がい者の現状を実際に見る中で自分の障がいをどのように隠せるかではなく、どのようにカバーできるかが大切だと気づくことができました。また、研修は視覚障がい者に対する教育や雇用の現状、テクノロジーについてなど、学習的な内容だけでなく、視覚障がい者への支援があるミュージカルやコンサートといった文化・芸術色の強いものも含まれていて、さまざまな分野を体験できました。とても充実した12日間を過ごすことができました。



執印 優莉亜さん

日本とイギリスの決定的な違いは何より国民性でした。日本人は手助けをするときに「やってあげる」という精神が顔を出します。しかし、イギリス人は「連れていく」ではなく「一緒に行く」精神。ハンディをカバーするのにお世話しすぎず、冷たすぎないサービス精神が国中に溢れていると感じました。そしてみんな仲がいいこと。初めて会う私たちにも、前から友達のように接してくれたので心がとても和みました。研修で出会った現地の学生とは今後も交流を続けていきたいです。



野澤 幸男さん

今回の研修は12日間という短い期間でしたが、文化交流・野外活動・教育・アクセシビリティ・芸術・歴史学習など、私にとって初めてのことがたくさんあって、毎日新鮮な発見ばかりでした。今の自分には何が足りなくて、これからの自分には何が必要で、そのために自分はしたらよいか。自分はこれから何をしたいのか、それを実現するために、どんな能力を習得し、どこを目標に進めばよいか。そういった問題の答えとなるヒントを、今回の研修でたくさんもらいました。



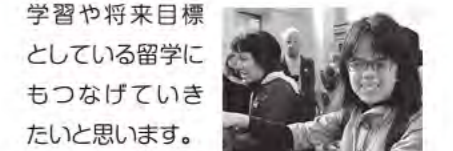
藤原 なるみさん

オールダムやRNIBでの研修を通じて、日本でインクルーシブ教育を行うには情報の共有が大切だと感じました。イギリスでは視覚障がいのある子どもたちのために、点字や音声、拡大が可能な電子教科書のデータベース「Load 2 Learn」というシステムがあります。これが普及すれば、どこにいても必要な教材が手に入るようになります。自分の望む場所で教育を受けることができる、実りあるインクルーシブ教育を行うために、日本ではまだまだ体制が整っていないと痛感しました。



道原 佳歩さん

この研修を終え、以前から興味を持っていた視覚障がい教育についてもっと知りたくなりました。また、受け身で学ぶのではなく、自分から情報発信していくことでさらに良い勉強ができる時もあることに気づきました。偏りや思い込みにとらわれない見方ができるよう、さまざまな視点からの学びも大切にしたいと思いました。今後は今回の研修で学んだことを生かしながら、語学力の向上を目指すとともに、大学での学習や将来目標としている留学にもつなげていきたいです。





# 1999年の発足より16年目を迎えた、 アジア太平洋地域からの研修生招へい事業。

アジア太平洋地域の障がいのある若者を日本へ招き、各地の機関・施設で障がい者福祉を学んでもらい、帰国後は母国のリーダーとして活躍していただく人材育成事業です。応募者254名の中から選出された第16期の6名は、2014年9月9日にダスキンスクールで開催された開講式の後、それぞれが約10ヵ月の研修に臨みました。



**ディナ・ラティフさん**

愛称: ディナ  
出身地: モルディブ  
聴覚障がい

ディナさんは、モルディブろう協会のメンバー。日本での研修ではろう女性が抱える問題の分析とその解決方法、手話の分析方法、ろう児に適した教育方法などを学習。帰国後は、今回の研修に参加するために辞退したろう協会の女性部長に再度立候補し、ろう女性が抱える問題の解決にあたるほか、手話通訳者の養成やデフユースキャンプの誘致、ろう教育を向上させるためにろう学校を作ることを目指しています。



**ジョンハン・ウーさん**

愛称: マイケル  
出身地: 台湾  
聴覚障がい

母国の台湾では、聴覚障がい者スポーツ協会のオリエンテーリング部門で活動されているマイケルさん。日本では、聴覚障がい者が直面している問題や困難とその解決方法、職場や生活・社会環境・社会参画の状況、情報保障やコミュニケーションのあり方などを研修。帰国後の目標としては、台湾手話を学ぶろう者関連団体の仕事に就いて、ろう者に対する福祉向上や権利擁護の活動に従事し、将来、アジア太平洋地域および世界的なろう者の会議に参加できるよう経験を積んでいきたいとしています。



**中央・西アジア 7名**

- カザフスタン 2名
- タジキスタン 2名
- キルギス 1名
- アフガニスタン 1名
- ウズベキスタン 1名

**南アジア 30名**

- ネパール 8名
- パキスタン 7名
- バングラデシュ 5名
- スリランカ 4名
- インド 4名
- モルディブ 2名

**東アジア 21名**

- 韓国 6名
- 台湾 7名
- モンゴル 4名
- 中国 4名

**東南アジア 52名**

- ベトナム 8名
- フィリピン 9名
- インドネシア 7名
- カンボジア 6名
- マレーシア 6名
- ミャンマー 5名
- タイ 5名
- ラオス 4名
- シンガポール 2名

**第16期生 日本での主なスケジュール**

- 2014年9月……開講式  
日本語(日本手話)研修
- 2014年12月……日本語・日本手話成果発表  
グループ研修
- 2015年1月……ホームステイ  
グループ研修
- 2015年2月……個別研修(～5月)  
グループ研修(5月～6月)
- 2015年6月……成果発表会・修了式

現在までに  
26の国と地域から  
115名が参加

- オセアニア 5名**
- パプアニューギニア 1名
  - フィジー 4名



**ウムール・ヘールさん**

愛称: モナ  
出身地: インド  
肢体不自由

母国では障がい者に統合教育、医療、職業訓練、児童相談、起業に関するサービスを提供する慈善信託財団で活動するモナさん。日本では各地の自立生活センターなどで障がい者団体の設立・運営や行政交渉、ピアカウンセリングなどを学習。帰国後は大学に復学し、国際学と障害学を融合させた研究を行い、心理学を学んだ自身にとって新しい手法であるピアカウンセリングを、僻地における障がい者の支援活動に取り入れ、自分のお姉さんを含めた障がいのある人の自立支援などを目標にしています。



**ディルショッド・ヌルムロドフさん**

愛称: ディルショッド  
出身地: ウズベキスタン  
肢体不自由

母国では、タシケント情報工科大学大学院に在籍しているディルショッドさん。今回の研修では各地の自立生活センターなどで、障がい者の生活・就労、余暇活動、移動手段、障がい者に対する国の支援について学びました。帰国後は大学院に復学し、大学に在籍する障がいのある学生と対話することで、彼らの障がいに対するイメージを変え、一緒に活動することを願っています。また、ホームページ作成技術を活かし、ウズベキスタン初の障がい者に関する総合情報サイトの設立を目指しています。



**ハビブラー・ラフマン・モラーさん**

愛称: ミジャン  
出身地: バングラデシュ  
肢体不自由

バングラデシュでは障がい者リハビリテーションセンターの人事部門を担当していたミジャンさん。日本では障害関連法や母国と日本の法律の比較、障がい者組織と政府の協力、障がい者の権利擁護、雇用創出、エンパワメントなどの研修を体験。自身が設立した障がい者団体を通じて、ハード面・ソフト面ともにバリアフリーな社会を作るための活動や、障害者関連法を改善するための試み、障がい当事者団体や行政などのネットワーク構築、障がいのある人のお見合いパーティなどの活動に取り組む予定です。



**ヴィリヤ・チャンチャルンさん**

愛称: チゴン  
出身地: ラオス  
視覚障がい

チゴンさんは、母国では医療リハビリテーションセンターに勤務するかたわら、ラオス盲人協会のメンバーとして視覚障がい者の権利と利益を守る活動や、訓練およびセミナーに参加。日本の研修では、DAISY制作や視覚障がい者に対するスポーツ・音楽指導、教育や就労などに取り組みました。帰国後の目標としては、リハビリテーションセンターに復職し、視覚に障がいのある学生の育成のために、DAISY図書作成やゴールボールチームの強化、伝統楽器の指導、日本語の指導といった活動を挙げています。





# 全国各地で、愛の輪運動地域実行委員会による活動が行われ、愛の輪運動への理解とご支援の輪がさらに広がりました。

## 愛の輪運動地域実行委員長会議を開催

2014年5月30日、ダスキン本社ビルで「愛の輪運動地域実行委員長会議」が開催され、各地域での活動や計画が報告されました。



## 北海道地域

### ダスキンケアサービス道央エリア会 福祉施設の托鉢・行願

6月3日、ケアサービス道央エリア会の加盟店から60名が参加して、札幌市・小樽市の7カ所の福祉施設の清掃活動を実施しました。



## 東北地域

### ダスキンケアサービス 福島加盟店働きさん大会

11月6日、郡山ビューホテルアネックスで愛の輪運動の紹介と入会案内、募金活動を実施しました。



## 北関東地域

### 愛の輪チャリティゴルフ大会

11月1日、太田双葉カントリークラブ(群馬県太田市)にて、48名が参加して「愛の輪チャリティゴルフ大会」を開催しました。



## 東京地域

### 愛の輪チャリティコンサート

1月9日、マンダリンオリエンタル東京で、第27期研修派遣生・服部こうじさんによる愛の輪チャリティコンサートを開催しました。



## 南関東地域

### 愛の輪チャリティ ボウリング大会 千葉県大会

3月14日、支店・加盟店と研修派遣生とのふれあいボウリング大会を開催。また、第30期研修派遣生・織田友理子さん、第33期研修派遣生・古田雅人さんの講演を実施しました。



## 東海地域

### 愛の輪チャリティゴルフ大会

10月24日、東建多度カントリークラブ名古屋(三重県桑名市)にて、36名が参加して「愛の輪チャリティゴルフ大会」を開催しました。



## 北陸地域

### 24時間テレビ「愛は地球を救う」 タイアップ愛の輪運動PR

8月18日～31日、福井県内と石川県内の世帯へ、24時間テレビ「愛は地球を救う」とタイアップし、愛の輪運動のPRを放映しました。



## 近畿地域

### 愛の輪カップチャリティソフトボール

9月13日、舞洲グラウンド(大阪市)で、愛の輪活動の啓蒙と理解を深めるきっかけづくりとして、16チーム300名が参加して、チャリティソフトボール大会を実施しました。



## 中国地域

### 愛の輪会員加入促進活動

5月、中国地域のダスキンファミリー全店において、DVD「地域と歩むダスキン」を300枚配布しました。



## 四国地域

### 愛の輪チャリティライブ

12月6日、高知市のひろめ市場にてシンガーソングライター・堀内佳さんのチャリティライブを開催しました。



## 九州地域

### ダスキン大分エリア 上半期キックオフ勉強会

2月13日、250名が参加したダスキン大分エリア上半期キックオフ勉強会にて、第30期研修派遣生・木村敬一さんの講演を実施しました。



## ダスキン創業50周年記念事業 地域大会で募金活動を実施



## 4つの地域大会に研修派遣生が参加

- 【北海道地域】 9月5日、シャトレーゼガトーキングダム サッポロ(札幌市)に研修派遣生1名が参加。
- 【北関東地域】 4月19日、長野オリンピック記念アリーナ エムウェーブ(長野市)にて研修派遣生と地域実行委員の交流会を開催。研修派遣生11名が参加。
- 【東京・南関東地域】 5月15日、日本武道館(東京都千代田区)に研修派遣生9名が参加。
- 【近畿地域】 8月20日、ワールド記念ホール(神戸市)に研修派遣生3名が参加。

## 新春の集い



## 研修生が演奏や講演をして交流

- 【北海道地域】 1月13日、札幌グランドホテルにて第27期研修派遣生・小島淳さんによる演奏会。
- 【東北地域】 1月16日、ウェスティンホテル仙台にて第27期研修派遣生・小島淳さんによるコンサート。
- 【東京地域】 1月9日、マンダリンオリエンタル東京にてアジア第16期研修生6名を招待し交流。
- 【東海地域】 1月16日、名古屋東急ホテルにて地域在住の研修派遣生7名による近況活動報告。
- 【近畿地域】 1月9日、ウェスティンホテル大阪にて第27期研修派遣生・小島淳さんによる演奏会。
- 【中国・四国地域】 1月17日、呉阪急ホテルにて第30期研修派遣生・織田友理子さんによる講演。
- 【九州地域】 1月14日、西鉄グランドホテル(福岡市)にて第30期研修派遣生・安田真之さんによる講演。

## 愛の輪タイム

### ダスキン感謝のつどい 愛の輪タイムで研修生が講演

全国各地で開催された「ダスキン感謝のつどい」の愛の輪タイムで、研修生が研修成果を講演されました。参加された研修生と会場は別表のとおりです。



|        |                            |
|--------|----------------------------|
| 新居浜会場  | 第30期研修派遣生 片岡亮太さん           |
| 京都会場   | 第30期研修派遣生 木村敬一さん           |
| 東京会場   | 第31期研修派遣生 石田由香理さん          |
| 札幌会場   | 第32期研修派遣生 三浦香織さん           |
| 会津若松会場 | 第29期研修派遣生 高田朋枝さん           |
| 津会場    | 第33期研修派遣生 小林功治さん           |
| 福岡会場   | 第30期研修派遣生 織田友理子さん          |
| 松山会場   | アジア第16期研修生 ティルショッド・ノルムロフさん |
| 広島会場   | 第28期研修派遣生 末清弘聖さん           |

### ミスタードーナツ 第35回フレンドシップフェスティバル 愛の輪タイムで研修派遣生が講演

ミスタードーナツで働く方々が日頃の技術やサービスを競う「ミスタードーナツフレンドシップフェスティバル」の各地域大会の愛の輪タイムで、研修派遣生が研修成果を講演されました。



|         |                      |
|---------|----------------------|
| 北海道地域大会 | 第32期研修派遣生 三浦香織さん     |
| 東北地域大会  | 第30期研修派遣生 織田友理子さん    |
| 北関東地域大会 | 第30期研修派遣生 安達さや佳さん    |
| 東京地域大会  | 第29期研修派遣生 廣川麻子さん     |
| 神奈川地域大会 | 第29期研修派遣生 高田朋枝さん     |
| 北陸地域大会  | 第31期研修派遣生 石田由香理さん    |
| 東海地域大会  | 第24・25期研修派遣生 石川亜紗美さん |
| 近畿地域大会  | 第30期研修派遣生 片岡亮太さん     |
| 中四国地域大会 | 第31期研修派遣生 吉岡久美さん     |
| 九州地域大会  | 第18期研修派遣生 青柳まゆみさん    |



2014年度(第34期)の会費・寄付金等の合計収入は、  
約1億7千7百万円です。

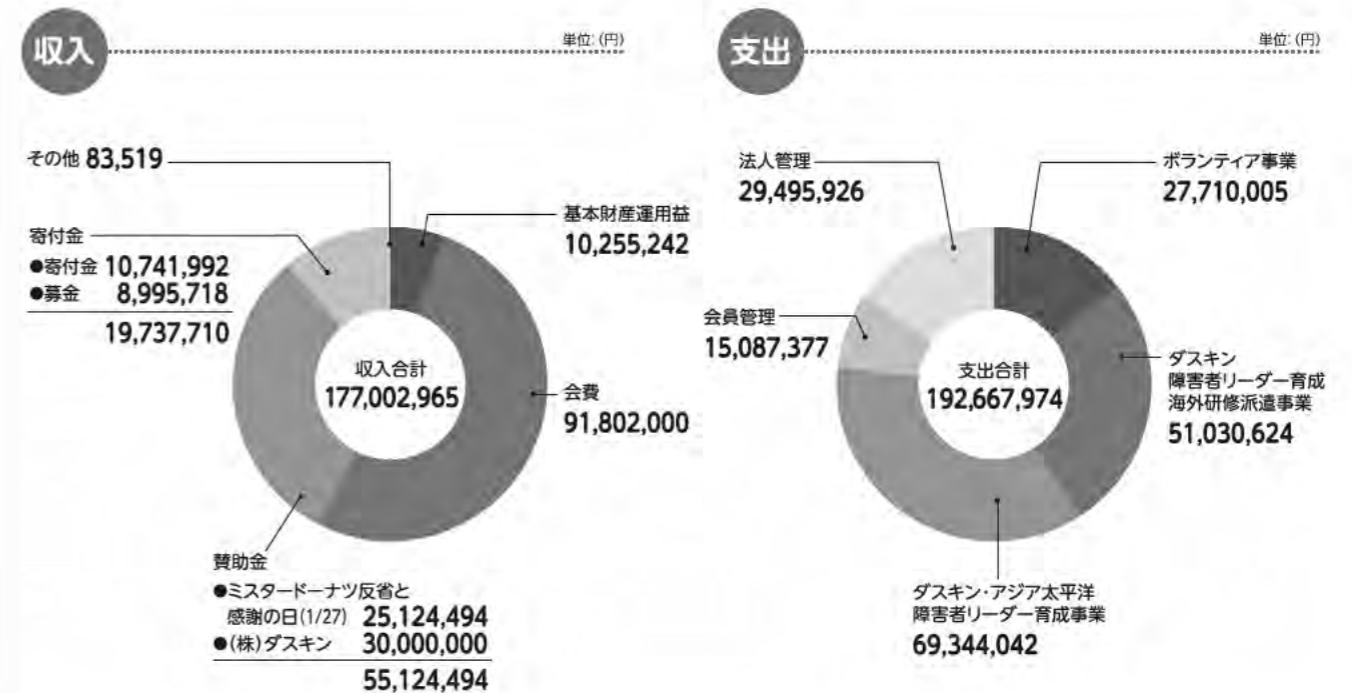
| 科目            | 合計            |
|---------------|---------------|
| I 一般正味財産増減の部  |               |
| 1. 経常増減の部     |               |
| (1) 経常収益      |               |
| 基本財産運用益       |               |
| 基本財産受取利息      | 10,255,242    |
| 受取会費計         | 146,926,494   |
| 受取寄付金計        | 19,737,710    |
| 雑収益計          | 83,519        |
| 経常収益計         | 177,002,965   |
| 経常費用計         | 192,667,974   |
| 当期経常増減額       | -15,665,009   |
| 2. 経常外増減の部    |               |
| (1) 経常外収益     |               |
| 経常外収益計        | 0             |
| (2) 経常外費用     |               |
| 経常外費用計        | 0             |
| 当期経常外増減額      | 0             |
| 当期一般正味財産増減額   | -15,665,009   |
| 一般正味財産期首残高    | 75,758,177    |
| 一般正味財産期末残高    | 60,093,168    |
| II 指定正味財産増減の部 |               |
| 当期指定正味財産増減額   | 0             |
| 指定正味財産期首残高    | 1,855,000,000 |
| 指定正味財産期末残高    | 1,855,000,000 |
| III 正味財産期末残高  | 1,915,093,168 |

|            | 第32期<br>2013.3.31 | 第33期<br>2014.3.31 | 第34期<br>2015.3.31 |
|------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 資産の部       |                   |                   |                   |
| 流動資産       | 86,424            | 71,378            | 57,530            |
| 固定資産       | 1,869,404         | 1,874,617         | 1,872,392         |
| 資産合計       | 1,955,829         | 1,945,996         | 1,929,923         |
| 負債の部       |                   |                   |                   |
| 流動負債       | 2,406             | 3,622             | 2,268             |
| 固定負債       | 10,721            | 11,615            | 12,562            |
| 負債合計       | 13,127            | 15,238            | 14,830            |
| 正味財産の部     |                   |                   |                   |
| 指定正味財産     | 1,855,000         | 1,855,000         | 1,855,000         |
| 一般正味財産     | 87,701            | 75,758            | 60,093            |
| 正味財産合計     | 1,942,701         | 1,930,758         | 1,915,093         |
| 負債及び正味財産合計 | 1,955,829         | 1,945,996         | 1,929,923         |

\*記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

| 資産の部     |               |
|----------|---------------|
| 【流動資産】   |               |
| 現金預金     | 55,735,401    |
| 貯蔵品      | 1,512,599     |
| 立替金      | 73,280        |
| 前払金      | 200,000       |
| 未収金      | 9,675         |
| 流動資産合計   | 57,530,955    |
| 【固定資産】   |               |
| 基本財産     | 1,855,000,000 |
| その他の固定資産 | 17,392,885    |
| 固定資産合計   | 1,872,392,885 |
| 資産合計     | 1,929,923,840 |
| 負債の部     |               |
| 【流動負債】   |               |
| 未払金      | 1,632,752     |
| 前受会費     | 227,000       |
| 預り金      | 408,756       |
| 流動負債合計   | 2,268,508     |
| 【固定負債】   |               |
| 退職金給与引当金 | 12,562,164    |
| 固定負債合計   | 12,562,164    |
| 負債合計     | 14,830,672    |
| 正味財産     | 1,929,923,840 |

収入・支出



会員数の推移

|                      | 法人会員 | 特定法人会員 | エルダー会員 | 働きさん会員 | 個人会員A | 個人会員B | 個人会員C | 小計     | メイト会員 | (累計)    | 合計会員数  | (累計)    |
|----------------------|------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|---------|--------|---------|
| 第32期<br>2013<br>3.31 | 233  | 439    | 547    | 1,709  | 1,465 | 2,870 | 5,791 | 13,054 | 282   | 173,507 | 13,336 | 186,561 |
| 第33期<br>2014<br>3.31 | 229  | 448    | 535    | 1,774  | 1,409 | 2,854 | 6,440 | 13,689 | 168   | 173,675 | 13,857 | 187,364 |
| 第34期<br>2015<br>3.31 | 221  | 455    | 535    | 1,755  | 1,420 | 2,924 | 6,233 | 13,543 | 157   | 173,832 | 13,700 | 187,375 |



# 第34期(2014年)は、研修派遣生14名を世界各国へ派遣しました。

- 第1期 1981年
  - 3月16日:東京・帝国ホテルで「ミスタードーナツ障害者リーダー米国留学派遣」の記者発表会が行われる。
  - 11月26日:厚生省より「財団法人 広げよう愛の輪運動基金」としての認可を受ける。
- 第2期 1982年
  - 1月7日:第1期留学生10名をアメリカへ派遣。
  - 1月27日:ミスタードーナツ1日チャリティが行われる。



- 研究開発助成事業として4機関が決定。
- 第2期留学生10名を派遣。
- 第3期 1983年 ●留学生9名を派遣。
- 第4期 1984年 ●留学生9名を派遣。
  - 「ミスタードーナツ障害者リーダー米国留学派遣」事業に対し、故山西利夫氏が「ヘレンケラー・アンサリバンゴールドメダル」を受賞する。



- 第5期 1985年 ●留学生9名を派遣。
- 第6期 1986年 ●留学生8名を派遣。
  - 研究開発助成事業の成果をうけて、「フェニルアラニン除去ドーナツミックス」をミスタードーナツと日本製粉が協力し開発する。
- 第7期 1987年 ●留学生8名を派遣。
- 第8期 1988年 ●留学生7名を派遣。
- 第9期 1989年 ●留学生7名を派遣。
- 第10期 1990年 ●留学生10名を派遣。
- 第11期 1991年
  - 障害者リーダー米国留学派遣事業の冠名がミスタードーナツよりダスキンに、米国留学が海外研修に変わる。団体研修27名(介助者を含む)を2チームで、2週間のアメリカ研修を行う。
  - 全国10地域に愛の輪地域推進委員会が誕生。
  - 第1回「愛の輪のつどい」が開催される。
- 第12期 1992年
  - ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣に4チーム98名(介助者を含む)を派遣。

知的障害者チームはスウェーデンへ、視覚・聴覚障がい・肢体不自由チームはアメリカで約2週間の研修を行う。



- 第13期 1993年
  - ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣に6チーム97名(介助者含)を派遣。肢体不自由者のチームを2チームに増やし、てんかんのチームを編成、アメリカに2週間、障がいの者「就労」をテーマに学ぶ。
- 第14期 1994年
  - 全国59地区に愛の輪地区実行委員会を設立。
  - ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業は、個人長期研修派遣生8名を派遣。また知的障害者グループ短期研修生5名をアメリカに派遣。
- 第15期 1995年
  - 愛の輪地区実行委員会を全国72地区に編成。
  - 研修派遣生10名を派遣。
- 第16期 1996年 ●研修派遣生10名を派遣。
- 第17期 1997年 ●研修派遣生9名を派遣。
- 第18期 1998年 ●研修派遣生7名を派遣。
  - 第18期研修派遣生の松江美季さんが長野パラリンピックで金メダル3個を獲得。その活躍に対し、「愛の輪賞」を贈呈。
- 第19期 1999年 ●研修派遣生9名を派遣。
  - ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業をスタート。



- 第20期 2000年 ●研修派遣生8名を派遣。
- 第21期 2001年 ●研修派遣生9名を派遣。
- 第22期 2002年 ●研修派遣生9名を派遣。
- 第23期 2003年
  - 財団設立25周年記念事業として、「グループ研修派遣」が加わる。
  - 研修派遣生11名(2グループ7名、個人研修生4名)を派遣。
- 第24期 2004年
  - 研修派遣生12名(2グループ8名、個人研修生4名)を派遣。
- 第25期 2005年
  - 11月16日:ヒルトン東京において「財団設立25周年記念式典」が開催される。
  - 研修派遣生11名(1グループ6名、個人研修生5名)を派遣。

- 第26期 2006年
  - 研修派遣生12名(3グループ9名、個人研修生3名)を派遣。
- 第27期 2007年
  - 研修派遣生12名(2グループ8名、個人研修生4名)を派遣。
- 第28期 2008年
  - 研修派遣生30名(4グループ17名、個人研修生5名、新設したジュニアリーダー育成グループ8名)を派遣。



- 愛の輪地域実行委員会を全国11地域に編成。
- 第29期 2009年
  - 研修派遣生16名(2グループ8名、個人研修生8名)を派遣。
- 第30期 2010年
  - 研修派遣生27名(4グループ21名、個人研修生6名)を派遣。
  - バンクーバー2010パラリンピック冬季競技大会のアイススレッジホッケーで、銀メダルを獲得した第21期研修派遣生 永瀬充さんに対し、「愛の輪賞」を贈呈。
  - 12月3日、広げよう愛の輪運動の30周年にわたる障がいの者のための福祉事業が認められ、「第60回障害者自立更正等厚生労働大臣表彰」を授賞。
- 第31期 2011年
  - 研修派遣生19名(2グループ13名、個人研修生6名)を派遣。
  - 2011年12月、公益法人の認定を受け、2012年2月、「公益財団法人ダスキン愛の輪基金」として名称も新たにスタート。
- 第32期 2012年
  - 研修派遣生13名(2グループ10名、個人研修生3名)を派遣。
- 第33期 2013年
  - 研修派遣生9名(1グループ5名、個人研修生4名)を派遣。
  - ロンドン2012パラリンピック競技大会の水泳競技において、銀メダルと銅メダルを獲得した、第30期研修派遣生 木村敬一さんに対して「愛の輪賞」を贈呈。
- 第34期 2014年
  - マサチューセッツ州立大学ボストン校の協力で「スタディ・イン・アメリカ研修」が加わる。
  - 研修派遣生14名(2グループ10名、個人研修生1名、スタディ・イン・アメリカ研修生3名)を派遣。

■役員

(任期:平成27年6月17日~平成29年6月開催予定評議員会)

|    |        |                |                           |
|----|--------|----------------|---------------------------|
| 理事 | 理事長    | 山村 輝治          | (株)ダスキン 代表取締役社長           |
|    | 専務理事   | 里岡 和也          | (株)ダスキン ミスタードーナツカレッジ学長    |
|    | 常務理事   | 山本 典芳          | (公財)ダスキン愛の輪基金 事務局長        |
|    | 理事     | 小野 金夫          | タイハウグループ 会長               |
|    | 理事     | 宮城 まり子         | (学)ねむの木学園 理事長             |
|    | 理事     | 小野 正師          | ダスキンフランチャイズチェーン全国加盟店会 理事長 |
|    | 理事     | 松友 了           | 社会福祉士事務所・早稲田すばいく 社会福祉士    |
|    | 理事     | 五十嵐 紀子         | (社福)光友会 理事長・総合施設長         |
|    | 理事     | 松井 亮輔          | (公財)日本障害者リハビリテーション協会 副会長  |
|    | 理事     | 關 宏之           | (社福)日本ライトハウス 常務理事         |
|    | 理事     | 宮原 英基          | ミスタードーナツフランチャイズ共同体 理事長    |
|    | 理事     | 佐藤 善則          | ダスキン生産協栄会 理事長             |
| 理事 | 大熊 由紀子 | 国際医療福祉大学大学院 教授 |                           |
| 理事 | 田門 浩   | 都民総合法律事務所 弁護士  |                           |

(任期:平成27年6月17日~平成31年6月開催予定評議員会)

|     |      |                            |                            |
|-----|------|----------------------------|----------------------------|
| 評議員 | 評議員  | 青柳 紀                       | (株)ヨコハマフーズ 代表取締役社長         |
|     | 評議員  | 東 正樹                       | ダスキニューニフォームサービスFCチェーン会 理事長 |
|     | 評議員  | 片石 修三                      | (公財)日本障害者リハビリテーション協会 常務理事  |
|     | 評議員  | 君塚 葵                       | 全国肢体不自由児施設運営協議会 前会長        |
|     | 評議員  | 須田 隆                       | 興隆産業(株) 代表取締役              |
|     | 評議員  | 下 二郎                       | ダスキン労働組合 委員長               |
|     | 評議員  | 田中 徹二                      | (社福)日本点字図書館 理事長            |
|     | 評議員  | 田中 義隆                      | ダスキン全国ケアサービス加盟店会 理事長       |
|     | 評議員  | 中尾 知也                      | ダスキンレントオールコミュニティ会 理事長      |
|     | 評議員  | 花島 弘                       | (公財)共用品推進機構 理事             |
| 評議員 | 福渡 靖 | 医療法人恭和会 介護老人保健施設 常総の郷 元施設長 |                            |

(任期:平成27年6月17日~平成31年6月開催予定評議員会)

|    |    |       |               |
|----|----|-------|---------------|
| 監事 | 監事 | 鶴見 明久 | (株)ダスキン 専務取締役 |
|----|----|-------|---------------|

(任期:平成27年6月17日~平成29年6月開催予定評議員会)

|    |    |       |                  |
|----|----|-------|------------------|
| 顧問 | 顧問 | 伊東 英幸 | (株)ダスキン 元代表取締役会長 |
|----|----|-------|------------------|

■ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業実行委員会 委員

(任期:平成27年4月1日~平成29年3月31日)

|        |                                  |       |                           |
|--------|----------------------------------|-------|---------------------------|
| 八木 三郎  | 天理大学 准教授                         | 石川 准  | 静岡県立大学 国際関係学部 教授          |
| 青松 利明  | 筑波大学付属視覚特別支援学校 教諭                | 尾上 浩二 | 認定NPO法人DPI日本会議 副議長        |
| 青柳 まゆみ | 愛知教育大学 障害児教育講座 准教授               | 小林 洋子 | 筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 助教 |
| 金塚 たかし | 特定非営利活動法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク 統括所長 | 山下 幸子 | 淑徳大学 総合福祉学部 准教授           |

■ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業実行委員会 委員

(任期:平成27年4月1日~平成29年3月31日)

|       |                               |        |                              |
|-------|-------------------------------|--------|------------------------------|
| 寺島 彰  | 浦和大学 総合福祉学部 教授                | 宮本 一郎  | (一財)全日本聾唖連盟 アジア太平洋地域事務局担当    |
| 山口 和彦 | 特定非営利活動法人 居宅移動支援事業所 TOMO 事務局長 | 稲 淳子   | 精神保健福祉士                      |
| 河村 宏  | 特定非営利活動法人 支援技術開発機構 副理事長       | 野村 美佐子 | (公財)日本障害者リハビリテーション協会 情報センター長 |
| 高嶺 豊  | 特定非営利活動法人 エンパワメント沖縄 理事長       | 村瀬 道雄  | 横浜訓盲学院 教頭                    |
| 小倉 國夫 | アジア障害者支援プロジェクト 事務局長           |        |                              |

■愛の輪運動地域実行委員会 委員長

(任期:平成26年4月1日~平成28年3月31日)

|       |       |                     |
|-------|-------|---------------------|
| 北海道地域 | 吉川 哲也 | (株)ダスキンプロンティア 代表取締役 |
| 東北地域  | 藤村 弘之 | (有)藤村商会 代表取締役       |
| 東京地域  | 原田 守康 | (株)シークルー 代表取締役社長    |
| 北関東地域 | 寺澤 義孝 | (株)ダスキン西蒲原 代表取締役社長  |
| 南関東地域 | 牧野 保  | (有)ダスキン茂原 代表取締役社長   |
| 北陸地域  | 和泉 晋吾 | (株)ダスキン高岡 代表取締役社長   |
| 北海道地域 | 酒徳 正吾 | (有)ダスキン米彦 代表取締役     |
| 近畿地域  | 守屋 栄利 | (株)アイエー 代表取締役       |
| 中国地域  | 橋詰 正紀 | ダスキン愛の店廿日市(株) 代表取締役 |
| 四国地域  | 西岡 正人 | (有)ダスキン高知 代表取締役     |
| 九州地域  | 門野 美郎 | オーリック(株) 代表取締役社長    |



## めい あい へるぶ ゆう — ダスキン愛の輪基金

1980年8月22日、ダスキンを創業して17年目、創業者 鈴木清一が永眠されました。

終生願ひ続けてきた「祈りの経営」という独自の経営理念と、  
その思想「人を育てる」「惜しみない愛を捧げる」という  
愛の精神を受け継ぎ、前進できる目標が必要でした。

翌年の1981年 国連が提唱した国際障害者年のテーマ、  
障がい者の社会への「完全参加と平等」の趣旨に沿って、  
創業10周年を迎えたミスタードーナツが、お世話になった地域の皆さまへの  
お礼返しとして、「ミスタードーナツ障害者リーダー米国留学派遣」を提唱し、  
日本全国に大きな影響をもたらし、その事業継承のため、  
ダスキンの社会貢献活動のひとつとして、「財団法人 広げよう愛の輪運動基金」が発足し、  
2012年2月 内閣府の公益認定を受け  
「公益財団法人 ダスキン愛の輪基金」として生れ変わりました。

「めい あい へるぶ ゆう？ (何かお手伝いすることはありませんか?)」、  
私たちにできることはほんの小さいことかもしれませんが、誰かのために、  
何か少しでもお役に立たせていただきたい。街角で困った人を見かけたら、お手伝いしたい。

一人ひとりの真心や優しさを行動に表し、  
「障がい者の自立と社会との共生」の実現を願い、小さなボランティアの輪が広がって、  
障がいのあるなしにかかわらず、全ての人々が心豊かな社会になりますように願っています。

## あいのわ宣言

私たちは、この運動を通じて障害者の方々が社会への完全参加を果たせるよう  
平等の立場から、心身障害児・者福祉の発展に努めることを誓います。

### 「広げよう愛の輪運動」会員憲章

私たちは、人間の尊厳と社会正義の信念に基づき、  
心身に障害を有する人びとと、すべてを連帯する。

私たちは、「広げよう愛の輪運動」のシンボル・バッジを掲げ、  
広く多くの人びとに運動の理念を啓発し、併せて参加を呼びかける。

私たちは、障害者における安全な社会環境の整備を求め、  
障害者のニーズを理解し、  
ボランティア活動等の遂行のために、知識と能力の研鑽に努力する。

すべての人間は生まれながらにして自由であり、尊ばれ、諸権利を有し、そして平等である。

私たちは、すべての人間が深い絆で結ばれ、  
社会への完全参加を指針とし、援助と協力を積極的に行う決意をここに宣言する。



公益財団法人 ダスキン愛の輪基金

〒564-0063 大阪府吹田市江坂町3-26-13 ダスキン江坂町ビル  
TEL.06-6821-5270 FAX.06-6821-5271 <http://www.ainowa.jp>